



河内小だより



令和4年1月7日(金)

三次市立河内小学校 校長 江崎 繁

今年の漢字は“優”

新年あけましておめでとうございます。

保護者の皆様、地域の皆様にはコロナ禍の中ではありますが、新たな気持ちで令和4年をお迎えのことと存じます。旧年中の本校の教育活動に対するご理解、ご協力、ご支援に対しまして心よりお礼申し上げます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

14日間の冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。子供たちは新年を迎え、決意を新たにしているところかと思えます。保護者の皆様には、冬休みの間、家族の一員として充実した生活が送れるよう家族の関りを深めていただいたことに感謝いたします。

さて、新年を迎え、恒例の「河内小学校 今年の漢字」の発表をしました。令和2年は“成”、令和3年は“考”でした。さて、今年は・・・始業式では子どもたちにこんな話をしました。

今年も新年を迎えて、令和4年をどんな漢字一文字に表そうか考えました。そして、この字にしました。「優」です。「優」は「ゆう」と読むと、優勝の「優」、優秀賞の「優」、また、送り仮名をつけて「優(やさ)しい」とも読みます。他にも「優(すぐ)れる」とも読みます。「優(やさ)しい」は、みなさんよく知っていますね。今年、人に対して「優しい心」をもちましょう。「優しい心」は、「違いを受け入れる心」「相手を気づかう心」「人を思いやる心」です。みなさんの周りで、優しい人だなあと思っている人は、こんな心をもっている人だと思えます。もちろん、「人の心を傷つけない」こと、「物を大切にすること」なども「優しい心」だと思えます。もう一つ、「優(すぐ)れる」です。「学問に優れる」とよくいいます。「優勝」は「優れた賞」、優秀は「優れている様子」という意味です。あいさつのよくできる人は「あいさつが優れている」、美しい字を書く人は「優れた字が書ける」と言いますね。でも、「優れる」は今日すぐにはできません。あいさつも字の美しさも、毎日の積み重ねの結果です。今年「優しい」「優れる」の“優”をいつも頭に置いて、日々努力をしていきましょう。

コロナ禍の中、予測不可能な先の見えない今だからこそ、人に対する“優しさ”について考えることが大切であると考えました。また、好奇心をもち、努力を続けることで得られる価値が“優れる”につながることを12月に授業をしていただいた津田雄一さん(JAXAはやぶさ2プロジェクトマネージャー)のお話から感じました。

あっという間の3学期。6年生にとっては、小学校最後の学期です。立派に卒業していけるよう、やり残したことがないように毎日を大切に過ごしてもらいたいと思えます。5年生は4月から最高学年になるという気持ちを持ち、これまで先輩が作り上げてきた河内小学校のよい文化を引き継いでほしいと思えます。1年生から4年生も河内小学校で学ぶことに誇りを持ち4月には胸を張って進級してほしいです。

保護者の皆様、地域の皆様には、どうか今年も子どもたちの“よき応援団”として学校に力をお貸しいただければ幸いです。



冬季の体力づくり ～ 体育朝会・なわとび運動 ～



河内小学校では、児童の体力向上策として、これまで業間体育で5分間走を行ってききましたが、冬季となりグラウンドの状態がよくない日も多くなるため、体育館でなわとびに取り組みます。また、「なわとびカード」を目標に体育の授業や体育朝会で新しい技にチャレンジしています。「先生、〇〇ができるようになったよ。見て、見て！」という子も増えました。



“寒い季節こそ、体力づくりの好機！”寒さに負けず、体をしっかり動かす元気な河内っ子になってほしいと思います。

安心・安全な食材ありがとうございます ～食育協力チームさんへ～

河内小学校では、日々の給食に安心・安全な食材を提供してくださっている「食育協力チーム」さんをお招きし、例年給食の「会食会」を企画していますが、昨年度からのコロナ禍により開催できていない状況です。そこで、子どもたちが感謝の気持ちを伝えたいということで、美化・給食委員会の子供たちがお手紙を書きました。12月末に代表してまちづくり連合会の山田様にお手紙を受け取っていただきました。食育協力チームの東山様、近藤様、永奥様、山田様、辰巳様、大田様、中岡様、岩崎様には、本校の食教育推進に係るご支援をいただき、誠にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

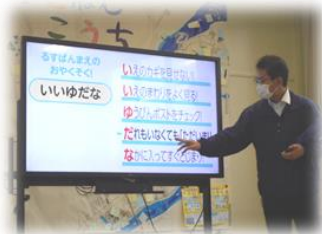


永奥さま 寒くなってきましたがお元気ですか。ぼくは、今、4年生で、給食を食べ始めて4年がたちました。いつも給食がおいしいので野菜の和え物や、スープなど、もりもり食べています。永奥さんはずっと給食に野菜を届けてくださっていることを知りました。地元の野菜が入っていると特においしいなと思って、残さず食べています。これからも、冬の野菜をしっかりいただき元気に過ごそうと思います。永奥さんも元気で過ごしてください。

河内小学校 4年 高橋 武都葵

「いかのおすし」&「いいゆだな」 ～ 防犯教室 ～

冬休みを前に「防犯教室」を行いました。今回は特に「不審者から自分の身を守るために大切なこと」と「留守番をする時に気をつけること」について生徒指導主事の中川教諭が説明をしました。不審者から身を守るためには「いかのおすし」だけではなく、1人で人通りのない道を通らないなどのポイントを指導しました。



また一人で留守番をする時は、新しいキーワード「いいゆだな」

「い」・・・家の鍵を見せない。

「い」・・・家に入る前に周りを見る。

「ゆ」・・・郵便ポストをチェックする。

「だ」・・・家にだれもいなくても「ただいま！」を言う。

「な」・・・中に入ったらずぐに戸締め。

について話がありました。最後に、家庭でインターネットトラブルに巻き込まれないポイントについて押さえました。インターネット端末は学習にも使い便利ですが、反面、危険な面もあることを知って正しく使用してほしいですね。

裏面に続きます。

号外!! 子どもたちの「努力」や「好奇心」が「賞」につながりました!

河内小学校では、子どもたちの可能性を伸ばすために“挑戦!”することの大切さをくり返し話しています。作品応募に“挑戦!”した子どもたちの成果が多く学校に届いています。今年度は19名全員が表彰を受けることができました。成果がでることで、努力の価値に気づき、自分のよさをさらに伸ばそうとする意欲をもった子どもになるそうです(“自己効力感”といいます)。(校長としては、本校の先生方の指導と保護者の方のご支援にも感謝でいっぱいです。)

【三次市科学賞(市内の優秀な科学作品に贈られます)】

○特選 「どんな虫がいるのかな? (共同作品)」

1年 余平 樹

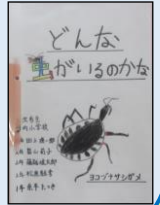
2年 田上 瑛一郎、畠山 莉子、藤越 琥太郎、松原 結李

○佳作 「どっちが先にとけるかな実験 (共同作品)」

3年 沖盛 亮太、戸田 幸太郎、余平 望、

4年 池田 蒼生、高橋 武都葵、田上 一葉、畠山 蓮

特選となった1・2年生の作品は、広島県の審査に推薦され、「**広島県科学賞**」でも「**入選**」の快挙達成となりました!



さまざまな“挑戦”により、今年度は19名全員に、賞状が授与されました! とてもうれしいです。みんながんばったね!



新聞に掲載していただきました!

【中国新聞「文化ひろば」子ども俳句】

○落ち葉見て 秋の終わりを 感じる日々 4年 田上 一葉さん 12/23版

～ 令和4年1月の予定 ～

31日(月) 市立三次中学校 入学説明会

7日(金) 3学期始業式

13日(木)・14日(金)

三次市学力到達度検査

17日(月) PTA 街頭指導

18日(火) スクールカウンセラー来校日

20日(木) 読み語り

27日(木) 道徳参観日 13:50~

学級懇談会 ※児童下校 15:00~

学校評議員会

1月27日(木)は、道徳参観日となります。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりましたので、2年ぶりの参観となります。本校の道徳の授業実践を是非ご覧になりに来てください。※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、今後の行事について、開催方法を変更する場合があります。(10日前を目安に判断)何とぞ、ご理解の程、お願いいたします。

「赤い羽根共同募金」にご協力ありがとうございました。

児童会執行部が全校に呼びかけて行った「赤い羽根共同募金」。3,128円の募金が今年届き、先日、まちづくり連合会様に届けました。皆様の善意はいろいろな所で役立てられると思います。ご協力ありがとうございました。

